

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



豊里 着ぐるみで交通安全呼び掛け

「春の交通安全キャンペーン『着ぐるみ作戦』(豊里地区交通安全推進会議主催)は4月8日、JAみやぎ登米豊里支店前の県道交差点で実施されました。
着ぐるみ作戦は、毎年春の全国交通安全運動期間中に実施されており、着ぐるみの街頭指導が恒例。この春も、サルトラ・パンダの着ぐるみが信号で停止したドライバーや登校する児童・生徒らの注目を集めながら、交通事故ゼロを目指して交通安全を呼び掛けました。

ジャガイモ早く大きくなって

「よねやま保育園ジャガイモ植え」は3月24日、よねやま保育園(佐久間あけみ園長、園児114人)園庭内の畑で開かれ、4・5歳児50人が参加しました。
当日は、園児たちの元気な「おはようございます、よろしくお祈りします」の挨拶で作業を開始。学校支援ボランティアがうね立てしたふかふかの畑に、大きく育つよう願いを込めた種イモを植えました。畑には他の野菜も植える予定で、給食の食材にしたり、秋には焼き芋会や収穫祭をします。



米山



迫

皆の思いを込めた名板が完成

「橋名板の感謝状贈呈式」は3月1日、新田小学校(菅原弘倫校長、児童129人)で行われ、県東部土木事務所登米地域事務所の本郷雅俊所長から感謝状が贈られました。
みやぎ県北高速幹線道路の迫町北方地内にある新大瀬橋に、今回6年20人が文字を書いた「新大瀬橋」、「しんおおせばし」、「長沼川」、「令和3年6月完成」の橋名板が設置されます。式では、丁寧に思いを込めて書いた文字が名板になり、皆が笑顔を見せていました。



石越

石越幼稚園に響いた閉園の歌

「石越幼稚園修了式および閉園式」は3月17日、石越幼稚園で行われ、修了児14人と保護者が出席しました。
園児は修了証書授与後、見守る保護者を前に元気な声で一人一人別れの言葉を発表しました。閉園式では園児が保護者とともに石越幼稚園の園歌を合唱。晴れ晴れしい声が会場内に響き渡りました。式の最後は園児、保護者、幼稚園職員で集合写真を撮影。昭和44年の開園から50年以上続いた歴史に幕が引かれました。

交通死亡事故ゼロ千日を達成

「寺池地区コミュニティ交通死亡事故抑止功労表彰」は3月15日、登米総合支所で行われ、登米市交通安全対策協議会から寺池地区コミュニティ運営協議会(阿部さち子会長)へ褒状が贈られました。
同地区は、平成30年6月17日から交通死亡事故ゼロを継続し、12日で交通死亡事故ゼロ千日を達成しました。阿部会長は「今後も交通安全に取り組んでいきたい」と意気込みを話しました。



登米

地区住民が協力し堤防を保全

「令和2年度登米市南方地区堤防敷枯れ草焼却作業」(南方町河川愛護会主催、佐藤次夫会長)は3月7日、南方町内河川堤防敷で実施され、地区住民約330人が参加しました。
南方町河川愛護会では、堤防敷周辺の環境保全作業を毎年実施しています。今年は参加者の密集を避け、ごみ拾いや火の取り扱いに注意しながら枯れ草を焼却。作業を通じて、堤防法面のクラックの有無や陥没、法崩れが無いかなど安全を確認しました。



南方



東和

東日本大震災を振り返り学ぶ

「東日本大震災・震災遺構見学会」(米谷公民館主催)は3月12日、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館(旧気仙沼向洋高校)で実施され、12人が参加しました。
震災当時、米谷地区では沿岸部の避難者の受け入れや米谷工業高を気仙沼向洋高の仮校舎とするなど被災者を支援。会場で、語り部から被災状況や避難所での生活について説明を受け、いつ起きるか分からない災害への備えや心構えを改めて学んでいました。



津山

オリジナル観光ガイドを作成

「津山町町めぐりマップ」は、津山地区にオリジナルの観光ガイドが無いことから、津山地域振興会(堀田耕平会長)が中心となり、地域の見どころを掲載したリーフレットとして作成されました。
マップは、イラストレーターの秋山清人さん=中田町川面=の優しく心むイラストを使用し、史跡名所や町を歩く際の食事処を紹介。マップは津山総合支所や市内各公民館、もくもくランドで閲覧できます。

今年一年の火災ゼロを願って

「令和3年中田支団初午行事無火災祈願」は3月7日、石森安永寺、宝江諏訪神社、上沼八幡神社、浅水長谷寺でそれぞれ執り行われ、登米市消防団中田支団から18人が参加しました。
無火災祈願は、五穀豊穡や災いの厄払いを祈願する初午の日にちなみ、消防団が地域の無火災を祈願する行事で、今年は新型コロナウイルス感染防止のため規模を縮小して実施。参加者は地域の一年間の安全を祈願しました。



中田